

教団新報

定価 1部150円(本体137円+共214円)
 予約購読料 1年分 5,350円
 紙代のみ 3,750円
 振替 00140-9-145275
 本紙を購読ご希望の方は、前金を
 そえて、お近くのキリスト教書店
 へお申し込み下さい。
 教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
 169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
 日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
 FAX03(3207)3918
 URL http://uccj.org
 発行人 秋山 徹
 編集主筆 嶋田 恵悟
 印刷所 株式会社きかんし

常議員会

第9回

第41総会期



2度目のオンライン常議員会

教師養成制度検討委員会 「日本基督教団の教師論」を提示

第41総会期第9回常議員会が10月26日に常議員28名が出席して行われた。三役、総幹事、幹事、一部の常議員が事務局に集い、多くの議員はオンラインで出席した。

総幹事報告において、秋山徹総幹事は、冒頭、各教区が努力しつつ教団常議員の選出を行ったことに対する感謝を述べた。また、コロナ禍への対応について触れ、「2021年度版教団年鑑」を休刊としたものの「便覧」の発行を予定していること、41総会期の諸報告は、1期2年間の活動報告を行い、延期された1年間は「補遺」を考えていることなどを報告した。

採用は行わず暫くは自然減を続けること、コロナ禍の財政状況に鑑み、幹事の夏期一時金を減額したことなどを報告した。青年伝道については、「教団メディア戦略」について、ユーチューブなどで発信するスタジオ構想を検討していることなどを報告した。

質疑応答の中で、会議における書面決議の有効性について質問があり、秋山総幹事は、「幹事のレベルでは協議しているが、正式なルートに乗せて協議はしていない。既に終わった会議については、有効なものとして進んでいる」と述べた。

教師養成制度検討委員会の報告では、菅原力委員が、教団の教師論を明らかにした3頁にわたる文章「日本基督教団の教師論」を報告した。芳賀力東京神学大学学長は、「記されているのは最も基本的なこと。神学校と教団が共通の土台に立てるように、更に展開してほしい」と意見を述べた。

石橋秀雄議長は、教団として丁寧な決断を述べた。また、「二種教職制、沖繩教区のことなどはどう反映したのか」、「合同教会の教師論として相応しいのか」、「信徒についても言えることであり、具体的な職能を記すべき等」、教団伝道対策検討委員会報告においては、岸俊彦伝道推進基本方針展開検討小委員長が全国伝道推進献金の報告と、一巡した「信徒の友」への掲載を、費用負担を減らしながら継続することを報告した。久世そらち機構改定検討小委員長が、来年度の総会までに機構改定を縮小したのは、今後諸活動が可能となる状況も考慮したためである。そのほかNCCへの分担金を前年度より10%削減し648万円とした。以上から21年度予算の事業活動収入計は2億8098万1840円。支出計は2億7913万3500円。収支差額は184万8340円の差益となる。

2021年度の伝道資金運用については、久世そらち伝道資金小委員長が、教区負担額が5384万1000円、交付額計が5110万5897円となることを説明し承認された。

なお今年度はコロナ禍の影響で各教区の伝道資金を用いた活動が行えず、執行残が返金されること予想される。返金の取り扱いについては規則に明記されていないため、次回常議員会にて検討を行うこととなった。(新報編集部報)

財務関連

第2次補正予算、教区負担金10%を削減

財務関連の議案は2020年度第2次補正予算、2021年度予算さらに2021年度伝道資金運用の件が取り扱われた。

まず第2次補正予算について宇田真算決算委員長は、本補正予算が教区議長会議において負担金の減免を求める声が多数あったのを受けて編成したものと説明。教区負担金が一律10%、金額にして2417万6600円が削減される。その結果、経常会計の事業活動収入計は教区負担金削減分が減少し2億7753万8400円となる。支出については、多くの会議がオンラインで行われたことから常議員会費や委員会費等を当初予算比で60%減としたのに加えて、総幹事およ

び幹事の夏の一時金受け取り辞退または50%減額の申し出により人件費を222万円削減。こうした支出の圧縮によって負担金10%減が実現した旨が報告された。

出計は2億7716万2000円。差益は第1次補正予算の1627万3500円から37万6400円に減少した。次に2021年度予算案ではコロナ禍の影響が続くことを勘案し収

入の部では教区負担金を7%、支出の部では引き続き会議がオンライン中心になることを見据えて常議員会や委員会に關する多くの費用項目で50%削減とした。20年度第2次補正予算と比べて削減

幅を縮小したのは、今後諸活動が可能となる状況も考慮したためである。そのほかNCCへの分担金を前年度より10%削減し648万円とした。以上から21年度予算の事業活動収入計は2億8098万1840円。支出計は2億7913万3500円。収支差額は184万8340円の差

益となる。2021年度の伝道資金運用については、久世そらち伝道資金小委員長が、教区負担額が5384万1000円、交付額計が5110万5897円となることを説明し承認された。

なお今年度はコロナ禍の影響で各教区の伝道資金を用いた活動が行えず、執行残が返金されること予想される。返金の取り扱いについては規則に明記されていないため、次回常議員会にて検討を行うこととなった。(米山恭平報)

出版局

経営改善検討チームを設置

最も時間を割いたのは、「日本キリスト教団出版局の件」であった。まず雲然俊美書記は、出版局に関する三者協議会の報告をした。その中で、「出版局職員より身を削って協力したい」との申し出があり、夏期一時金の不支給、課長職の給与の一部削減がなされたとの報告を受けている」と伝えた。続いて議案に

ついて説明し、出版局の事業及び財務の改善に關して三者協議会のもとに外部専門家も加えた「出版局経営改善検討チーム」を設置し、取り組みをさらに推進すると述べた。

出版局に関して、山北宣久出版局理事長より説明がなされ、出版局から日本基督教団の各教会に向けて、現状の説明と具

体的な支援の依頼を11月初旬に発送する予定であることが報告された。加えて、石橋秀雄議長が常議員会で本件の課題を扱うようになった経緯を述べ、現状では外部専門家を入れるのは必要不可欠と判断し、加藤真澄氏(経営コンサルタン

ト・国際キリスト教大会)に依頼するに至ったことを報告した。

また、飯光出版局長代行は、8月時点での会計状況について、「売上げが前年同月比800万円減となったものの、当期純利益は経費の圧縮等により前年同月比2700万円増の6万円減と抑えられている」と報告した。

一連の経緯説明を受けた後、議場からは、経営改善検討チームの位置づけや外部専門家への報酬をどこから支出するのか等の質問があった。石橋議長が、外部委託費用は130万円ほどであると述べた他、改善検討チームは常議員会が設けた三者協議会の中に置くものであり、これに關する費用は常議員会費より支出する予定であるとの説明があった。

また、現状の調査、検討だけでなく、具体的な改善案を示すチームとするよう、修正を求める意見があった。質疑を受け

て、三役協議の後、議案に「費用は常議員会費から支出する」、提案理由に「具体的経営改善策を打ち出し、それを実施しようとするものである」との文言を加える修正がなされた。

宇田真算決算委員長は、次回常議員会で常議員会費から支出するため補正を行う必要があることを補足した。採決の結果、28名中27名の賛成を得て、本件は承認された。

(田名 希報)

お知らせ
 「教団新報」今号を4938・39合併号とし、次号は12月26日に発行します。
 総幹事 秋山 徹



試験はレポートに、面接はオンラインで

2020年 秋季教師検定試験

補教師合格3名、継続3名、正教師合格45名、不合格4名

コロナ禍の中、万全の準備をして実施

9月15～17日の日程で、2020年秋季教師検定試験が開催された。補教師6名、正教師49名、教師転入審査1名の受験者が与えられた。秋季教師検定試験は正教師試験を受験する者が大半である。その教師を通して聖礼典執行がなされることを待っている教会の祈りがある。教師検定委員会として、新型コロナウイルス感染症拡大の中でも、教師試験の中止は是非にも避けたいと願った。

そのため、これまで説教・釈義などの提出試験に加え、学科試験科目もレポート提出に置き換えることで試験を実施した。

またこれまで教師検定試験では面接も試験の一部であることをうたってきた。面接もレポート提出に置き換えることも考えられた。しかし教会でも多くの会議がズームなどを用いたオンライン会議として開催されてい

ることを踏まえ、面接をオンラインで行うこととした。これは事務局レポート試験となった学科試験は、提出期間を2週間に区切り、出題・レポート提出のやりとりがなされた。全体会および個人面接をズームを用

いて行ったが、受験者のネット環境などの懸案事項もあった。これは事務局により幾度もテストが重ねられるなど、丁寧な事前準備がなされ、すべての受験者と面接することができた。

このようなやり方ゆえ

講評

新型コロナウイルス感染症拡大の中、秋季教師検定試験をどのように行うのか苦慮しました。試験会場に一同が集合して試験を行うことは難しいと判断しました。主の伝道の業を中断することはできないこと、また受験志願者の安全を第一に考えることとし、筆記試験を全てレポートに切り替えました。面接も試験として重んじているため、オンラインで行うことを決断しました。全てが初めての経験で、事務局が受験

者一人ひとりと連絡を取り合

い、万全の準備をして試験に臨みま

した。

当日はトラブルもなく、主に導か

れて検定試験を行うことができ、安

堵しています。受験志願者も不安と

戸惑いの中で試験に臨まれたことと

思いますが、全ては教団の教師として

立てられる召命を問う試験でした。

主の召しに応え、教団の教師が立て

られたことを感謝しています。

第41総会期 教師検定委員長 井ノ川 勝

2020年秋季(レポート試験)・正教師検定試験問題

教憲教規および諸規則・宗教法人法

次の2題に答えてください (両方で1500字程度)。

1. 教規66条の(6)には、教会に対する教区の指導が規定されています。一方、教区に対する教団の指導についての規定は明文化されていません。教憲・教規の考え方として、これはなぜなのか、関連すると思われる条文を示して論述してください。
2. 宗教法人上の教会規則と、いわゆる教会法としての教会規則には、性質上、どのような違いがあるのか、関連する条文を示しながら論述してください。

旧約聖書神学

次の2題を、旧約聖書の聖書箇所をいくつか挙げつつ、神学的に論じてください。なお、参考にした文献やそれに伴う註も明記してください (各1500字程度)。

1. ダビデとソロモンの治世に現れる、神と国家の関係
2. エレミヤ書における「慰め」について

新約聖書神学

次の2題を、新約聖書の聖書箇所をいくつか挙げつつ、神学的に論じてください。なお、参考にした文献やそれに伴う註も明記してください (各1500字程度)。

1. 永遠の命について
2. エルサレムの使徒会議について

教会史

次の問に答えてください (3000字程度)。

- ◎聖餐理解について、宗教改革期を中心に、古代・中世・及び今日に至る連続性と変遷について、論述してください。

社会福祉施設援助金への推薦のお願い

本年も、前年度分のクリスマス献金を社会福祉施設援助金に充当いたします。教区において下記の条件に該当し、援助を必要とする施設がありましたら、別紙にて推薦くださいますようお願いいたします。

*「教団の教会または教区が何らかの形で関係し、無認可の法人格を持たない開拓的社会事業で、経済的援助を必要としている」(原則1教区1施設)。

申込締切 2020年12月末日 (期日厳守)

社会委員長 森下 耕

▼教師養成制度検討委員会

「日本基督教団の教師論」最終案を作成

教師養成制度検討委員会の第8回委員会が8月17日、第9回委員会が10月13日、いずれもオンライン会議として開催された。委員長菅原力、書記東野尚志、委員石橋秀雄、岡本知之、古旗誠、協力委員小宮山剛、第8回委員会は当初、4月13日に開催の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため流会となり、改めて、8月にオンラインでの開催となった。前回委員会から半年の間が空いたが、継続審議中の「日本基督教団の教師論」を巡り、原案をもとにして意見交換を行った。

第9回委員会においても教師論の本文の検討を継続し、委員会としての最終案を作成の上、これに前文を付して常議員会に報告し承認を求めるとした。その後、オンライン上でのやり取りを経て、文章を確定した。当委員会は、教師養成制度検討会議による「答申書」(2014年2月3日)をもとにして、その具体化を進めるべく設置された。以来、教団関係神学校を訪問しながら、教団の教師養成について検討を重ねる中で、教団がどのような教師養成を望むのかについて、「教団の教師像」を明らかにすることの重要性を認めるに至った。

そこで、職制論全体の枠組で考えるのではなく、教師養成の必要に限らず、教団の信仰告白と

教憲が描いている教会論を踏まえ、教団の教師として欠かすことのできない基本線を示すために、教団信仰告白と教憲に立脚する「教師論」を文章としてまとめた次第である。

当委員会としては、常議員会の報告において、

荒野の詩

アルに留まったフレーズを思いめぐらしながら、カミュ『ペスト』(新潮文庫)を読んだ。ロックダウンし、病院や施設へお見舞いに行けない辛さを感じつつ、一方で、病や老いの苦しみと向き合う具体的な個人に思いを寄せながら、「どの良いだろう」と悩む時間が減った。様々な会議が書面やオンラインになり、休憩時間にお茶を飲みながら談笑する時間が無くなったことに淋しさを覚えず、一方で、少なからず気を使う人と顔を合わせる必要が無くなり、行くのを感じる。同情が無駄となり、心の扉が徐々に閉ざされて行く感じの中に慰めを見つけた。▼「言は肉となつて行くことも知る。▼「抽象と戦うためには、多少抽象に似なければならぬ」。作中の心が

(清藤 淳報)

(東野尚志報)

◆宣教研究所委員会◆

論文集「宣教の未来」、21年10月発行予定

第4回宣教研究所委員会... 2019年12月16日に教団会議室で行われた。... 「教会の未来」5つの視点から... 論文執筆者を以下のように決定し、依頼した。

▼教師委員会▼

2件の「戒規適用申請」を不受理

9月29日に第7回教師委員会を教団小会議室と一部オンラインにて行った。出席者は委員6名と事務局2名、陪席1名。初めに報告事項を扱ったが、その中で神学校日献金の呼びかけとボスターの送付について報告がなされ、今年例年の実績とコロナ禍の状況を考慮して、目標額を300万円に減額したことが説明された。

▼伝道資金小委員会▼

伝道交付金各教区一律申請額の89%

第4回伝道資金小委員会... 10月2日教団事務局とズームによるオンラインでの参加者によって開催された。... 第3回小委員会議事録を承認した後、2020年度伝道資金会計(特別会計)について担当幹事から報告を受けた。

事務局報

- 正教師登録 梅崎須磨子、遠藤誠一 (2020.7.23受按) 中島 純 (2020.7.26受按) 正教師転入 林 利行 (第9回常議員会承認) 教師異動 高知中央(主)益 敏 (就)主金 修貞 (就)担益 敏 那須塩原(代)飯塚拓也 山形学院高校 辞教佐々木謙一 札幌 辞(主)米倉美佐男 (就)代米倉美佐男 大館 辞(主)佐々木久慶 (就)代丸尾雅俊 愛北 辞(兼主)日高伴子 (就)代長田圭子 教師隠退 森田武夫 教師退任 三浦亮平 教会合併 仙台愛泉、宮城野愛泉 ↓仙台宮城野 伝道所名称変更 津島日光川燈台 ↓中川ぶどうの木 教会離脱 亀有 伝道所離脱 成増キリスト 教師改姓 宮田蒼夫↓奈良蒼夫 キリスト教教育主事改姓 宮田登貴子↓奈良登貴子

教区議長コラム

◆東中国教区◆

大塚 忍

2020年5月に開催予定だった第69回東中国教区定期総会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中止となった。また「将来的東中国教区宣教に関する件」も上程予定であった。教区の宣教を俯瞰し、礼拝の持ち方を模索し、少しづつ形とすることができたのも事実である。オンラインでの活動を支える予算の立て方、教区活動に見合った計画の再検討の必要性が提案理由であった。この二つは総会の最重要議案であり、な

厳しい現実の中にあっても

「教団機構改定に関する検討資料」についてのQ&Aを協議

10月9日、オンラインで、第8回教団伝道対策検討委員会を開催した。前回記録承認後、本委員会の下に設置した2つの小委員会からの報告がなされた。教団伝道推進基本方針展開検討小委員会からは、全国伝道推進献金報告(献金総額約460万円、その内米国王老教会からの献金が約200万円)のほか、献

▼伝道対策検討委員会▼

が報告された。懸案事項として、東北教区常置委員会からの「戒規適用申請」の案件について、1件目に関しては教会の付帯施設における問題であり、戒規適用の範囲を超える内容があるため不受理とした。また現在係争中の案件でもあるため委員会として中立性を保つことは困難であると判断した。しかし裁判の結審が出たところで再度、戒規申請を申し出ることが可能であることを委員会では確認した。

進献金の報告と配分先について、および、『信徒の友』への記事掲載継続について審議してもらうこと、および、教団機構改定に関するQ&Aを配付することとした。また、教団伝道推進と機構改定に関して、今後の検討の進め方や検討課題等について協議をってもらうこととした。(雲然俊美報)

伝 道 報 告



七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。…イエスは言われた。「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」 ルカによる福音書第10章17節～20節

愛は絶えることがない

鳥取教会社会委員長・社会福祉法人鳥取こども学園理事長 藤野 興一

園(院)の文化としての礼拝は、学園墓地も含めて園(育児院)の大きな霊的財産である。

また、2008年から本田哲郎神父著「釜が崎と福音」読書会という形で「キリスト教社会事業研究会(木曜会)」を開催し、何度か本田神父にも参加していた。休会も含め12年続いている。

この間、木曜会常連の法人幹部職員5名が相次ぎ受洗、鳥取教会の役割を引き受け、「大胆に外に向けて踏み出そう」とアクティヴに活動し始めている。

今の世界は、ヒトラーやムッソリーニ、東条英機らの時代に酷似している。「障がい者不要論」による無差別殺人、コロナ感染者への差別攻撃、難民拒否、感染予防に名を借りた権力犯罪・差別、自由の圧殺が行われている。飢えと暴力が子どもたちを襲い続け、ネオナチ党などの極右勢力が台頭している。

2019年8月、「新しい社会的養育ビジョン」が、現場を知らない学者や政治家による「施設解体論」として出された。これは、施設で暮らす子どもの居場所を奪い、日本の優れた福

祉文化を破壊するものである。

日本キリスト教児童福祉連盟は、2015年と2017年には、2015年と2017年には、2018年と2019年には、養育研究所のメンバー4名でトロントのアドボカシー事務所とライオンズ大学を訪問、大歓迎を受けた。

アーウィン所長率いるオンタリオ州アドボカシー事務所やライオンズ大学との関係では、鳥取養育研究所、鳥取大学、鳥取こども学園との間に、3年間の交流研究協定が結ばれた。3年間の間に「鳥取県に、日本・鳥取独自のアドボカシーシステムを構築すること」を構想している。

当面は、カナダで「子どもアドボカシー」を学んだユース5名、職員6名で構成する運営委員会が結成したHope & Home (H & H) を内実化し、10月24・25日合宿に期待したい。

鳥取こども学園は慈善事業の時代から、日本の社会的養育分野の先駆的役割を担ってきた。2011年7月の「社会的養育の課題と将来像(課題と将来像)」及び「日本型社会的養育」の先行実践モデルである。その牽引力は神様の愛に導かれたキリスト教社会事業と当事者中心のアドボカシーの実践にある。

自然や心よりもお金や物を大事にしてきた今までの世界をコロナウイルスは改めるよう迫っている。世界中の子どもたちが未来に向けて発言し、闘いの先頭に立ち立とうとしている。9月に79才の誕生日を迎えた私も、生かされて彼らに力をもらいながら共に歩みたい。感謝です。



鳥取こども学園全景と筆者

《会堂共済組合》被災に大いに寄り添う

2019年は台風が9月から10月にかけて連続して同じ地域を襲い、さらに後追いするかのような豪雨で、被害が大きくなった。会堂共済組合では、すべての支払いを2020年8月18日をもって完了した。支払い実績は左記の通り。

ある教会では今回の台風での被害を機に、会堂・牧師館の建て直しを決定。建物を取り壊されることになったが、建築業者に原状復帰の見積りをするようにと会堂共済組合から教会に勧めをした。届いた見積金額を精査して保険金を支払った。教会では新築費用の46%が教会積立金、19%が教会債発行で、残りの35%が全国献金・支店借入金・他教会借入金。その中であって、会堂共済組合からの保険金は3%相当になり、教会からは大いに感謝された。

まだ加入されていないところはぜひ問い合わせてもらいたい。現在の保険料との比較を勧めます。教会・学校の財政役に立ちたいと願っている。(辻井秀雄報/会堂共済組合事務理事)

2019年台風10・15・19号等及び集中豪雨災害一覧表

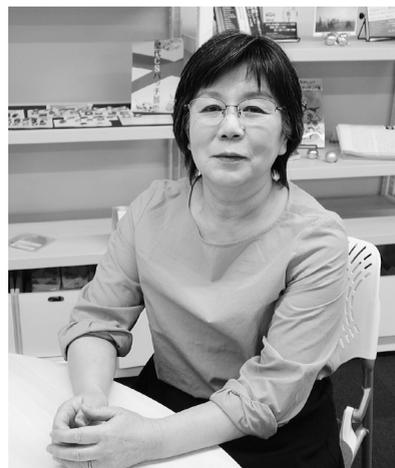
(2020年8月18日現在)

教 区	被災組合員数	支払済組合員数	保険金支払額
東 北	4	4	16,897,500
関 東	4	4	1,076,700
東 京	29	29	15,709,200
西 京	4	4	3,265,600
神 奈 川	15	15	16,517,100
東 海	5	5	267,100
中 部	2	2	1,061,670
京 都	2	2	442,500
大 阪	1	1	44,700
兵 庫	1	1	276,500
東 中 国	1	1	4,289,200
四 国	1	1	42,200
九 州	4	4	4,191,500
合 計	73	73	64,081,470



村山めぐみさん

主の御業に信頼して



阿佐ヶ谷教会員、2019年4月より年金局業務室長

牧師の家庭に生まれ、物心ついた時には幼児洗礼を受け、教会学校にも通っていた。思春期には「礼拝が部活か」を巡って、両親との「戦い」を経験することもあったという。しかし、幼稚園がある教会の牧師館で育ったことが、保育者になりたいという思いを与えられる要因になった。

高校3年生の時に小石川明星教会で信仰告白をし、短大に進学して幼稚園教諭の資格を取った。阿佐ヶ谷教会の「つぼみ会」に就職。その後、小石川明星教会の「こひつじ幼稚園」での働きを経て、阿佐ヶ谷教会の子育て支援や、地域のファミリーサポートなど、子どもに関わる仕事を担い続

けて来た。「一生懸命励むと、すぐにはないけれど、必ず子どもの成長した姿が見えることが喜びでした」と村山さんは振り返る。幼児教育を退く頃、年金局業務室長の仕事の話があった。体を動かして子どもと接する働きから一転、今まで扱ったことのないような桁数の数字と向かい合う事務作業を担うことになる。一度は断ったものの、「牧師館で育ったことで、それだけ深く牧師の状況を察しつつ、対牧師、対教会のケアをする働きを担えるのではないか」と引き受けることになった。

謝恩日などに教団年金の話聞いていたが、どこか漠然としていた。働きを担うようになり、献金に支えられている仕組みの優れている点も課題も見えてきた。「各教会、牧師の問題としてのみ捉えるのではなく、教団全体の牧師を皆で支えるものであることを受け止めて、全ての教師に入ってもらいたい」という。

今年度は特にコロナ禍により献金の減少も心配される。しかし、主は耐えられない試練を与えない方であると信じ、主の御業がなされることに信頼して励みたいと語る。

コロナ禍で、オンラインによる会議が広がったことから、奥羽教区秋田地区内の若手牧師と共に、オンラインで秋田における伝道を語り合う「秋田伝道フォーラム」を立ち上げた。地方においては広い地域に教会が点在しているため、地区教師会などで教師たちが集まることもなかなか大変である。けれどもオンラインであれば長距離を移動する必要は無く、また、時間の制約という課題もクリアできるという利点がある。

オンラインでつながる恵み

これを始めた理由は、秋田の

地教会形成と福音宣教の働きを担い、労苦している教師たちの学びと励ましになることを願うことであるが、それと共に、地方の教会に仕える牧師

て順番に意見を述べることで、年齢や経験の差というものにとらわれないで発言できるということもあるように思っている。各教会では、オンラインによる複数教会の合同礼拝の実施や、祈祷会へのリモート参加といったこともなされている。もちろん、オンラインでの集まりには注意すべきこともあるが、「離れていても、つながっている」関係を保つための重要なツールであることは間違いないと思う。(教団総会書記 雲然俊美)